

事業番号	事務事業名	妊産婦健康診査事業			所管課名	保健福祉課	令和 3 年度課長名	安道 智秋	
02301	政策名	1	こころあたたかい福祉の里づくり			係名	子育て支援係	担当者・シート作成者	芦田 允予
	施策名	12	健康づくりの推進			根拠法令等	鏡野町妊婦一般健康診査事業実施要綱		

1. 事務事業の概要

①事業期間	②今年度の事業内容(具体的な内容、事務概要等を簡潔に記載する)	③開始したきっかけ(いつ頃、どんな経緯で)
<input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返し <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (年度~ 年度) <input type="checkbox"/> 単年度のみ	(事業内容) 妊産婦が健診費用の心配をせずに必要な回数(妊婦健診14回、産婦健診2回)の妊産婦健診を受診してもらい、母体や胎児の健康確保を図る。県外は償還給付となる。(業務の手順) 母子健康手帳交付時・転入時に助産の説明と無料券を配布→産婦人科等で受診→国保連から請求及び個人からの償還請求→審査を行い支払い。	平成20年4月より、少子化対策の一環として単独町費で14回の無料券を発行開始(平成25年度より県からの補助金廃止) 平成30年10月から産婦健康診査が対象となり2回分の無料券を配布した。

2. 事務事業の対象・意図・活動・成果指標

①対象(誰、何を対象にしているのか)		④対象指標		単位	区分	1 年度	2 年度	3 年度	4 年度	5 年度
ア	鏡野町に住所を有する妊産婦	→	ア	人	見込	150	150	150	150	150
					実績	141	149	145		
イ		→	イ	人	見込	100	100	100	100	100
					実績	81	92	91		
ウ		→	ウ		見込					
					実績					

②意図(対象をどのような状態にしたいのか)		⑤成果指標(意図の達成度)		単位	区分	1 年度	2 年度	3 年度	4 年度	5 年度
ア	妊産婦健診にかかる経済的負担を減らす	→	ア	件	目標	1,200	1,200	1,200	1,100	1,100
					実績	1,036	1,146	1,005		
					達成率	86.3%	95.5%	83.8%		91.4%
イ		→	イ	件	目標	150	160	175	175	175
					実績	148	168	171		
					達成率	98.7%	105.0%	97.7%		97.7%
ウ		→	ウ		目標					
					実績					
					達成率					

③主な活動内容		⑥活動指標		単位	区分	1 年度	2 年度	3 年度	4 年度	5 年度
ア	受診券の交付と支払等の用務	→	ア	件	目標	1,400	1,400	1,400	1,300	1,300
					実績	1,184	1,314	1,176		
					達成率	84.6%	93.9%	84.0%		90.5%
イ	制度の周知と浸透	→	イ	件	目標	100	100	100	100	100
					実績	92	101	83		
					達成率	92.0%	101.0%	83.0%		83.0%
ウ		→	ウ		目標					
					実績					
					達成率					

3. 事務事業の予算・コスト概要

予算科目	会計 01		款 04		項 01		目 02		大事業 中事業		予算上の事業名					事業番号
	一般会計		衛生費		保健衛生費		予防費		01	02	妊産婦健康診査事業					
1 年度 実績	2 年度 実績	3 年度 実績	4 年度 見込	5 年度 見込	前年比	決算 (千円)	1 年度 実績	2 年度 実績	3 年度 実績	4 年度 見込	5 年度 見込	前年比	02301			
国庫支出金		460	485	485	460	国庫支出金			661	485	460	661				
県支出金						県支出金										
町債						町債										
その他特財						その他特財										
一般財源	12,806	11,524	10,299	11,098	11,098	-1,225	一般財源	9,575	10,736	9,026	11,098	235	-1,710			
合計	12,806	11,524	10,759	11,583	11,583	-765	合計(A)	9,575	10,736	9,687	11,583	695	-1,049			
財源名称	母子保健衛生費国庫負担金					従事正職員人数		1	1	1	1	1				
						延べ業務事務時間		50	65	65	65	65				
						人件費計(千円)(B)		175	217	218	222	222	0			
	最終予算額		10,759 千円	予算執行率		90.0%	トータルコスト(A+B)		9,750	10,953	9,905	11,805	917	-1,049		
主な 支出事業内容 (予 算)	消耗品費				6 千円	主な 支出事業内容 (決 算)	消耗品費				6 千円					
	印刷製本費				85 千円		印刷製本費				85 千円					
	手数料				169 千円		手数料				137 千円					
	委託料(物)				10,128 千円		委託料(物)				9,423 千円					
	扶助費				371 千円		扶助費				38 千円					

事業番号	02301	事務事業名	妊産婦健康診査事業	所管課名	保健福祉課
------	-------	-------	-----------	------	-------

4. 事務事業の環境変化・住民意見等

① 事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)はどう変化しているか? 開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか?
制度の開始当初は、公費負担が2回分だったが平成19年10月から5回分、平成20年4月からは14回分までに引きあがり、妊婦の手厚い経済支援となった。平成24年度までは、県からの補助金が出ていた。平成25年度からは、一般財源での対応となった。平成30年10月からは、産婦健康診査が対象となり、2回分追加となった。
② この事務事業に関するこれまでの改革・改善の取り組み経緯
県より妊婦健診の公費負担の対象となる検査があれば、その都度広報等で周知している。多胎妊婦については妊婦健診の無料券追加の対応を実施している。
③ この事務事業に対して、関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が、どの程度寄せられているか?
妊婦の経済的負担を減らす目的としており、妊婦にとって心強い事業である。

5. 事業評価

目的 妥当性 評価	① 政策体系との整合性(この事務事業の目的は町の政策体系に結びついているか? 意図することが結果に結びついているか?)	
	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている	理由説明 安心して出産をするための事業であり、政策体系の「健康づくりの推進」に結びついている。
	② 町が関与する妥当性(この事業は町が行わなければならないものか? 税金を投入して行うべき事業か? 住民や地域民間等に任せることはできないか?)	
<input type="checkbox"/> 見直し余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である	理由説明 少子化対策は、町や国の行政課題で、安心して子どもを産み育ててもらうため、公費の投入は妥当である。	
③ 対象・意図の妥当性(事務事業の現状や成果から考えて、対象と意図を見直す余地がないか?)		
<input type="checkbox"/> 見直し余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 適切である	理由説明 対象は妊産婦のみであるため、これ以外の拡充の余地はない。	
有効性 評価	④ 成果の向上余地(成果向上の余地はないか? 成果を向上させる有効な手段はないか? 何が原因で成果が向上しないのか?)	
	<input type="checkbox"/> 向上余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 目標水準に達している	理由説明 多胎妊婦についての助成回数を増やす対応をし、現状においては目標水準に達していると考えます。
	⑤ 廃止・休止の成果への影響(事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無は? 目的を達成するには、この事務事業以外に方法はないか?)	
<input type="checkbox"/> 影響がない <input checked="" type="checkbox"/> 影響がある	理由説明 国の制度であり、廃止すると妊産婦の経済的負担が増加し、少子化対策に支障をきたす。	
⑥ 方法・手段の改善余地(やり方等を改善して成果をより向上させることはできないか?)		
<input type="checkbox"/> 改善余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 改善余地がない	理由説明 多胎妊婦は妊婦健診の助成回数を増やし対応しており、現状では改善の余地はないと思われる。	
効率性 評価	⑦ 事業費の削減余地(成果を下げずに仕様や工法の見直し、住民の協力などで事業費を削減できないか?)	
	<input type="checkbox"/> 削減余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない	理由説明 事業費と成果が比例しており、事業費の増加が成果向上に直接つながる。
⑧ 人件費(延べ業務時間)の削減余地(成果を下げずにやり方の見直しや民間委託などでコスト削減できないか?)		
<input type="checkbox"/> 削減余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない	理由説明 現状で必要最低限度の時間で対応しており、今以上の削減余地はない。	
公平性 評価	⑨ 受益機会・費用負担の適正化余地(事業内容が「対象」の全体でなく、一部の受益者に偏っていないか? 受益者負担は公平・公正となっているか?)	
	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である	理由説明 妊産婦は全員対象となるので、公平・公正である。

6. 事業評価の総括と今後の方向性

① 上記の評価結果	② 全体総括(振り返り・成果・反省点)・評価結果の根拠																						
<table border="0"> <tr> <td>A 目的妥当性</td> <td><input checked="" type="checkbox"/> 適切</td> <td><input type="checkbox"/> 見直しの余地あり</td> </tr> <tr> <td>B 有効性</td> <td><input checked="" type="checkbox"/> 適切</td> <td><input type="checkbox"/> 見直しの余地あり</td> </tr> <tr> <td>C 効率性</td> <td><input checked="" type="checkbox"/> 適切</td> <td><input type="checkbox"/> 見直しの余地あり</td> </tr> <tr> <td>D 公平性</td> <td><input checked="" type="checkbox"/> 適切</td> <td><input type="checkbox"/> 見直しの余地あり</td> </tr> </table>	A 目的妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切	<input type="checkbox"/> 見直しの余地あり	B 有効性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切	<input type="checkbox"/> 見直しの余地あり	C 効率性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切	<input type="checkbox"/> 見直しの余地あり	D 公平性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切	<input type="checkbox"/> 見直しの余地あり	安心して出産をするためにはかかせない制度となっており多くの妊産婦に好評である。件数は少ないものの、多胎妊婦については、様々な面で負担が多いため、助成回数を増やすことで、経済的な面からのサポートに繋がると考えられる。										
A 目的妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切	<input type="checkbox"/> 見直しの余地あり																					
B 有効性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切	<input type="checkbox"/> 見直しの余地あり																					
C 効率性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切	<input type="checkbox"/> 見直しの余地あり																					
D 公平性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切	<input type="checkbox"/> 見直しの余地あり																					
③ 今後の事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可	④ 担当課としての事業の方針																						
<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 休止・廃止 <input type="checkbox"/> 事業完了	今後の改革改善案 多胎妊婦の受診券を増やす対応をとっており、現状維持でよいと考える。	<table border="1"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td>○</td> <td></td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持		○		低下			
		コスト																					
		削減	維持	増加																			
成果	向上																						
	維持		○																				
	低下																						
⑤ 改革改善案を実施する上で解決すべき課題																							
・現状維持の対応とし、引き続き、妊産婦の声を聞き対応を検討していく。																							